



2025 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヴ ィ ス
代 表 者 名 代表取締役社長 金 谷 智 浩
(コード番号：5071 東証スタンダード)
問 合 せ 先 常務取締役コ-ホレト Div.長 矢原 裕一郎
(TEL.06-6457-6788)

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2025 年 5 月 14 日に公表しました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異

(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,980	719	709	468	55.98
実績値 (B)	6,874	644	644	414	49.53
増減額 (B - A)	△1,106	△75	△65	△54	—
増減率 (%)	△13.9	△10.4	△9.2	△11.5	—
(ご参考) 前中間期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	7,972	976	970	640	77.30

2. 業績予想と実績値との差異の理由

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績につきましては、前期に大型案件の完工が集中した影響により、営業活動の平準化が進む中で引き合い件数が減少し、加えて大規模案件の受注率も低下した結果、売上高は前年同期を下回りました。また、大阪本社の移転や、フレキシブルオフィス「The Place 新橋」の開設に伴う費用が増加したことから、営業利益、経常利益及び親会社株式に帰属する中間純利益は前回発表予想を下回る結果となりました。

下期以降は受注活動の強化や提案力の向上を通じて、業績の回復を図ってまいります。

なお、2026 年 3 月期の通期業績予想につきましては、現時点で通期業績に大きな影響を及ぼす要因はな

いと判断していることから、2025 年 5 月 14 日に公表いたしました連結業績予想は据え置くことといたします。

引き続き、受注環境の変化を注視しながら、計画達成に向けて取り組んでまいります。今後の業績動向等により、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

※本資料に記載している業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上